



校長が考える学校経営の「一步先」を実現する



R6年度 第8号①
津山教育事務所 3月

今年度も残りわずかとなりました。まとめと次年度への準備で大きな山場を迎えていることと思います。アクションプランフォローアップ訪問させていただいた学校では、「今の子どもの実態や未来に向けて求められること等から、**目指す子ども像**を明確にするために**教職員みんなでワークショップ型研修**を行った」「『自分たちの学校は自分たちでつくる！』と児童自身が思い動く、そういう自治力を伸ばしたいという**学校のコアバリューを共有**した」「学校経営理念、学校の存在意義、何のために（目的）等、改めて**ビジョンを言語化**し、教職員と共有しながら**具体の取組をアクションプランに落とし込んで**いる」「今年度の**成果と課題を出し合い**、私たち教職員がやるべきことをまとめるとともに、**グランドデザインを作り直している**」等、教職員が一体となって前に動いている様子を教えていただきました。

今月号②～④では、その中から**ビジョンと分析に基づいた戦略**が練られている奈義中学校の取組を紹介するので、参考にしてください。

いよいよラストスパート！4月からの好スタートに向けて、来年度の準備をよろしくお願いいたします。
退任される校長先生は、本当に長い間、お疲れさまでした。

新転任される校長先生へ

新しい学校で、校長として最初にするべきことは？

①子どもの実態、学校の課題を把握しましょう。

学校評価、アンケート、学調結果、Q-U、体力テストの結果、教頭・主任等への聞き取り、子どもの様子を実際に見る等により。

②前任者作成の学校経営方針、APの理解を深めましょう

「昨年度何ができて、何ができていないのか」「めざす子ども像は適切で、明確か」「有効な取組設定ができているか」「検証は可能か」等の視点で。

③ビジョン実現の道筋を計画しましょう。

一步一步、確実にステップアップできるよう中期・長期目標をもちましょう。

④職員会議で明確なビジョンを示しましょう。

ビジョンを示し、教職員の心を揃えていきましょう。

⑤作成済みの経営方針・APに校長先生のビジョンを加え、修正しましょう。

必ず校長先生自身の思いやビジョンを加えて学校経営を行いましょう。

後任の校長先生への引継

引継をよろしくお願いいたします。特に、ビジョン、コアバリュー、パーパス、ミッションについては、自分の思いを引き継ぎましょう。後任の校長先生は、前任校長の思いをしっかり受け止めるとともに、自分自身の思いやビジョンを加えていってください。

したがって、新しい校長先生がビジョンを基につけ加えや修正を行うことを必ず職員に伝えておきましょう。管理職が教職員と課題を共有しながら、柔軟に対応していく体制が必要です。

アクションプラン作成に関わって

●県義務教育課資料を必ず引き継いでください

- ・令和7年度学校経営アクションプラン作成に当たって
- ・Adviser' Viewpoint第9号（令和6年3月）

●津山教育事務所

- ・ステップアップ通信（津事HPに掲載しています）
 - ・令和7年度Bサークル予定
- も引き継いでください。



校長が考える学校経営の「一步先」を実現する



R 6 年度 第 8 号②
津山教育事務所 3 月

特色ある学校紹介

奈義町立奈義中学校

学校教育目標

夢に向かって 自ら学び ともに学び合う「なぎっ子」の育成

★奈義町園小中一貫教育目標として設定

- 意欲・社会性・目的意識等の奈義と自分の未来を切り拓く（学びに向かう）力の育成
- 好ましい生活習慣の確立や課題に対しての自己決定力等の個の力の育成
- 聴き合ったり共感し合ったりすることにより（対話しながら）高まっていく関わる力の育成

**ぶれない
方向性**

園小中を貫く太い柱としてのビジョン（学校の目指す方向）・コアバリュー（最も大切にしている価値観）・パーパス（存在意義）・ミッション（使命・果たすべき役割）が明確になっているからこそ、同じベクトルで工夫された具体の実践が進んでいます。

めざす
学校像

夢・勇気・感動～笑顔でつながる学校～

めざす
生徒像

- N 粘り強く夢に向かって努力を続ける生徒
- A 温かい雰囲気の中で自分の思いを表現できる生徒
- G 元気な歌声とあいさつで 認め合いつながり合う生徒
- I いつまでもでも奈義を愛し誇りに思い続ける生徒

一体感

学校経営目標

みんなでやろう!～明るく・楽しく・元気よく～



校長が考える学校経営の「一步先」を実現する



R6年度 第8号③
津山教育事務所3月

特色ある学校紹介

奈義町立奈義中学校

成果と課題を分析→次年度アクションプランへつなぐ

奈義町園小中一貫
教育目標と連動

意欲・社会性・目的意識等の奈義と自分の未来を切り拓く（学びに向かう）力の育成
好ましい生活習慣の確立や課題に対しての自己決定力等の個の力の育成
聴き合ったり共感し合ったりすることにより（対話しながら）高まっていく関わる力の育成

令和6年度成果と課題

★奈義中スタイルがほぼ
浸透している。

★タブレット・電子黒
板・教室両サイドのホワ
イトボードを積極的に有
効活用している。

★話し合い活動における
教員がファシリテート
しようとする姿勢や具
体的な動きが見られる。

★学びを委ねる場面設定
や個別最適化の学びの実
現に努めようとする姿が
見受けられる。
→さらなるチャレンジ

令和6年度成果と課題

★帰りの会での学習計画
づくりと自主学習ノート
の取組はほぼ計画通り実
施できた。

▲タブレットを活用した
自主学習は目標未達成

★AP「知」に関する項目（抜粋）

●重点目標 主体的に他と教え合い、学び合う生徒
～事前学習・1人1台端末環境を基盤として～

●達成指標・話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりしている
R6年度結果 肯定的回答90%以上目標達成 → R7年度目標値 **最上位回答**65%に設定

●重点取組（教職員の具体的な手立て）

○すべての授業において、奈義中スタイル「個人思考→ペアや小グループ活動→全体交流→個人思
考の流れ」を基本とし、「生徒に学びを委ねる場面」を設定する。

○ペアや小グループ活動の時間確保及び活性化を図るため

- ・本時に関する事前学習を生徒に課す。
- ・ICT機器やGoogleアプリ（生成AI含む）及び教室のWBを活用する。

さらなる高みを
目指している

●達成指標・自主学習ノートやタブレットドリル及び生成AIを活用し、自分の学習状況に応じた
家庭学習をしている。

●重点取組（教職員の具体的な手立て）

○主体的・計画的に家庭学習を行うため

- ・計画を立てる時間を帰りの会に設定する。
- ・授業後の「振り返り」を自主学習に関連付けて記入させる。

○タブレットドリル、生成AIの活用例、自主学習ノートの好事例を提示する。

○自学に活用できるプリントを用意する。

○生徒自身の学習の調整力を養うため

- ・自主学習ノートへ「ねらい」「振り返り」を記入させる。

課題解決に向けて
生成AIの活用挑戦

前向きな
教職員集団!

学校全体に
学校経営目標
「みんなでやろう!
～明るく・楽しく・
元気よく～」が浸透
しています。



校長が考える学校経営の「一步先」を実現する



R6年度 第8号④
津山教育事務所3月

特色ある学校紹介

奈義町立奈義中学校

成果と課題を分析→次年度アクションプランへつなぐ

奈義町園小中一貫
教育目標と連動

意欲・社会性・目的意識等の奈義と自分の未来を切り拓く（学びに向かう）力の育成
好ましい生活習慣の確立や課題に対しての自己決定力等の個の力の育成
聴き合ったり共感し合ったりすることにより（対話しながら）高まっていく関わる力の育成

令和6年度成果と課題

★重点取組は計画通り行うことができた。

★生徒間でのわだかまり等のトラブルは、**早期に対応**し、減少している。

★互いを認め合い、支え合う気運もたかまりつつある。

▲自己肯定感や有用感に乏しい生徒も少なからず存在する。

★AP「徳」に関する項目（抜粋）

●重点目標 認め合い、支え合うことができる、しなやかな生徒
～自律を促す活動を通して～

さらなる高みを
目指している

●達成指標・友達の考えや言動を認め、友達のよいところを見つけようとしている。

R6年度結果 肯定的回答90%以上目標達成 → R7年度目標値 **最上位回答**65%に設定

●重点取組（教職員の具体的な手立て）

○毎月 校内生活目標と行動指標を示す。学級及び個人がさらに詳細な行動を設定する。

○自律・自治的な学級運営 学活（短学活）取組を**校内にて共有**する。

○学校行事や生徒会（委員会）活動等において、生徒一人一人が集団のために何ができるか考え、行動できるように支援する。**振り返り**と**今後の取組のサイクル**を回す。

●達成指標・学級活動などを通して、特定の友達以外ともコミュニケーションを図ろうとしている。
・周囲に気を配った振る舞いや言葉遣いができている。R7目標値**85%→90%**

●重点取組（教職員の具体的な手立て）

○**コミュニケーション教育**や**ソーシャルスキルトレーニング**を実施

・表現できる場の設定 合意形成ができるスキルを習得させる

○一人一人の生徒の状況に応じた、**他との合意形成力**や**自己表現力の育成**等をねらいとする**自立応援室の運営**を行う。

自己決定の場面もより大切
にしようとしている

令和6年度成果と課題

★**コミュニケーション教育**、**SST**、**スクリーニング会議**は計画通り進めた。

▲自立応援室は改善傾向だが、課題は残っている。